

## 東京下町散歩



美瑛市医師会  
花田病院

清 水 透

この1～2年の間に、妻と二人で東京の下町を3回歩きました。

①湯島天神から歩き始めて、小さい家並みの根津～ヒマラヤ杉、谷中の墓地～賑やかな夕やけだんだん、谷中銀座商店街を巡って、日暮里で山手線の反対側に回って根岸の子規庵に至りました。あいにく昼休みの時間帯で子規庵には入れませんでした。裏に回って庭を垣間見ようとしていると、楽しそうにカップルが歩いてきました。若いのに子規に興味があるんだと感心したのも束の間、そのまま通り過ぎて行きました。そして近くの建物に入って消えました。そうです。細い道を挟んで隣は有名な鶯谷のホテル街なのです。今は子規庵の庭ではピンク色のホトトギスが春を告げて鳴くのです。

②墨東綺譚の世界に憧れて、東向島（旧玉の井）の永井荷風旧居跡から歩きました。くねくねした路地を巡って言問団子を食べて一休み。それから隅田川沿いの遊歩道を少し歩いて桜橋を渡りました。橋の上から見る薄暮の隅田川とスカイツリーは絶景です。さぞかし桜の季節はきれいだろうと思います。途中、自転車でアルミ缶を回収している男性が酔っ払ってベンチからずり落ちて寝ていました。晴れてはいましたが季節は一月です。今も生きていることを願います。

③最後になりましたが、早稲田から都営荒川線に乗り三ノ輪で降りて、たけくらべの世界を想いながら夕方の吉原を巡りました。時間が早いためまだ人通りは少なく拍子抜けしました。型通り大門跡と見返り柳で記念撮影。花やしき遊園地の裏から浅草六区に出て帰りました。

余談ですが、私たちの旅行先で翌年に何かが起こるという不吉なことがあります。奥尻の青苗に泊った次の年に大津波が来ました。またバリ島に行って歩いたメインストリートで、翌年に爆発事件がありました。エジプトでは革命が起きて、考古学博物館が荒らされました。しばらく平穏でしたが、平成25年に九州の西側を旅行して、翌年11月に夏休みで今度は東側を旅行しましたが、待ち構えていたように阿蘇山が噴火しました。阿蘇はロープウェイ乗場でストップでしたが、先に豊後竹田の岡城から見た阿蘇の噴煙は強い思い出です。体力のあるうちにマチュピチュに行き、またシベリア鉄道に乗りたい、どこか遠くへ行きたいと思っています。

## 医師会旅行の思い出



函館市医師会  
函館赤十字血液センター

木 下 透

先月（平成27年10月）、東京でのJDDW 2015の日帰り往復の帰路、羽田空港で「先生、先生」と呼び掛けられている一行と遭遇しました。どうやら夫婦7組、単身2名、事務局5名の総勢21名で、2泊3日の道東旅行に出発する年配の医師会の方々の方でした。観楓会でしょうか？ それにしても東京の医師会は豪華だなと思っているうちに、最初は和気あいあいと歓談していた事務局の方に参加予定の某先生から電話があり、今新宿を出たばかりでこれから品川で京急線に乗り換えるのだが、間に合いそうにないということで俄然緊迫の度合いが高まってきました。

私は平成8年4月より17年間旭川市の隣町の国保東川町立診療所に勤務しておりまして、所属は上川郡中央医師会でした。旭川市を取り囲む周辺8町から構成される、会員数は少ないが自然に恵まれた志の高い郡市医師会の一つです。

平成16年の忘年会の席で当時の医師会長、椎名弘忠愛別診療所長より、来年の55周年記念行事の幹事を頼むと言われまして、翌17年7月9日・10日に旭岳温泉のホテルでの一泊旅行を企画しました。特別講演は現名寄市立総合病院長の和泉裕一先生に「北・北海道における心臓血管外科診療の現況」をお願いし、総勢23名の参加でした。

最初に受付で参加申し込みのなかった、上川町の重鎮！先生がご夫婦でお見えになられた時は驚きました。空室を確認したところ、残念ながら夏山登山の多客期で空きがなく、ツインのシングルユースが主体でしたので、同じ医局のK先輩に無理を言って私が同室させていただきました。宴会場にも個室の空きがなく、バイキング会場の大部屋を仕切る形にしかできませんでした。

標高の高いところで飲むと酔うのですよね。翌日は二日酔いの中、私はゴルフ班（東川町のコート旭川CCで親睦ゴルフ会を開催）ではなく登山班だったので、さらに酸素が薄く、具合が悪くなりながら姿見の池周辺を散策しました。いろいろと心苦しい幹事の思い出でしたが、会長夫人から温泉を褒められ、撮影した高山植物「チングルマ」の写真を翌年の年賀状に使うことができました。

椎名先生、藤本達哉先生（東神楽聖台病院長、当時の副会長先生）、65周年記念旅行どうでしたか。私も還暦になりましたよ。これからもよろしく願います。